家族みんなで　地域ぐるみで訓練に参加しましょう

地震・津波防災訓練

日ごろの備えが、あなたの身を守ります

5/24(木)

午前６時～

町内全域で訓練を実施

地震調査委員会では、宮城県沖地震が平成28年（2016年）末までに60パーセント程度の確率で、平成48年（2036年）末までにほぼ100パーセントの確率で発生すると予測し、この地震により、沿岸部では大津波が発生する危険性もあります。

また、三陸沿岸部では、昭和35年5月24日の早朝に襲来したチリ地震津波で大きな被害を受けたように、海外での地震による津波被害を受ける恐れがあります。

町では、地震や津波から命を守るためには、住民の皆さんの防災意識が高まることが大切であると考え、今年も5月24日に町内全域で地震・津波防災訓練を行います。

日ごろから家族で話し合い、また、いざというときのために防災訓練に参加し、地震が発生したときの安全確保や津波からの避難方法などを再確認しましょう。

【地震・津波防災訓練の主な内容】

6:00　宮城県沖を震源とする地震が発生
（当地方では震度５強を観測）
6:05　宮城県沿岸に大津波警報を発令
避難指示を発令
6:30　津波第１波到達
6:55　訓練終了
7:00　犠牲者の御霊に黙とう

近所の皆さんと声をかけ合って、訓練に参加しましょう！

防災機関では、地域の防災意識を高めるため、行政区など地域が主体となって、独自の内容で訓練に参加する「自主防災訓練」を推進しています。

近所の皆さんが声をかけ合って訓練に参加することで、障害物などがないか避難路を検討し合うことができ、お年寄りや子どもなど弱者への手助けや、逃げ遅れがないか確認することもできます。

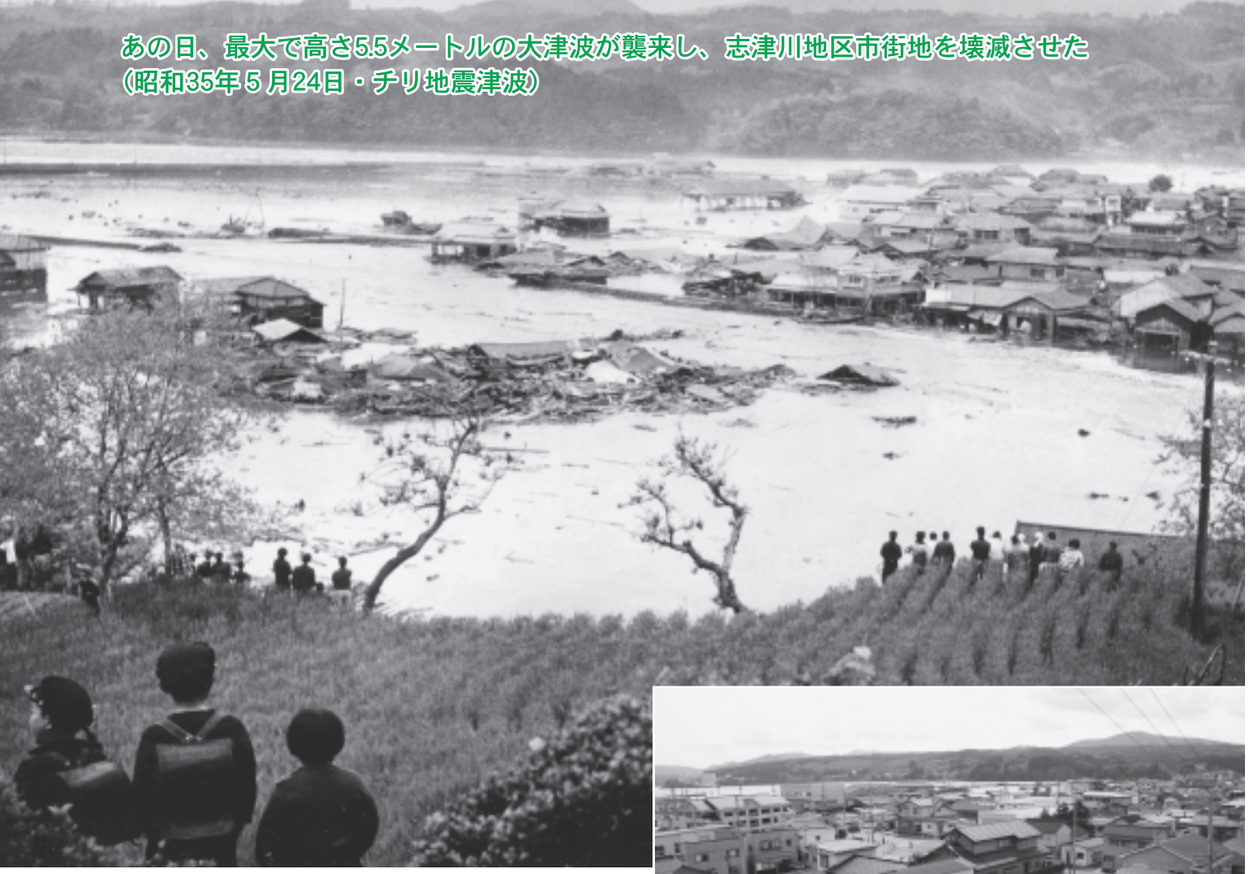
自主防災訓練参加の呼びかけがありましたら、家族みんなで積極的に参加しましょう。そして、訓練を通して、いざというとき、自分や家族を守るためにどうしたら良いか考えてみましょう。

津波資料展を開催します

◇日時：5月22日(火)～27日(日)
午前9時から午後5時まで
◇場所：図書館、役場本庁「町民ホール」

昭和35年５月24日早朝、三陸沿岸は南米チリ地震による大津波の被害を受けました。忘れてはいけない津波の様子を写真や記録雑誌などで確認し、津波の体験をしたことがない若者や子どもたちに、語り伝えていきましょう。

津波資料展


あの日、最大で高さ5.5メートルの大津波が襲来し、志津川地区市街地を壊滅させた
（昭和35年５月24日・チリ地震津波）

現在の大森高台から見た大森地区

大森高台に避難し、津波を見つめる（㊧大森）
濁流にメキメキと不気味な音をたてて家々が壊されていく。子どもたちはランドセルだけを背負って逃げた。

災害時の安否確認に 災害用伝言ダイヤル 171

大地震などの災害が発生すると、被災地への電話がつながりにくい状態になります。こんな時、災害用伝言ダイヤルが役に立ちます。利用方法は次のとおりです。

※災害発生時のみで平常時は使えません。利用可能となった場合は、ＮＴＴ東日本がテレビ・ラジオなどでお知らせします。

【災害用伝言ダイヤル（171）の基本的操作方法】

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。

伝言の録音方法

1 7 1 にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます
録音の場合 1
▼ガイダンスが流れます
(☒☒☒)☒☒☒-☒☒☒☒

伝言の再生方法

1 7 1 にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます
再生の場合 2
▼ガイダンスが流れます
(☒☒☒)☒☒☒-☒☒☒☒

被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

録音された伝言は、被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。設定方法等のお問い合わせは、局番なしの「116」またはＮＴＴ支店・営業窓口までお願いします。

電池の交換を忘れずに

戸別受信機の内蔵電池の寿命は約１年です。電池の交換をしませんと、災害などによる停電の場合に、防災無線を聞くことができません。また、液漏れなどによる故障の原因にもなります。
電池の交換は忘れずに、お早めに。

5月24日(木)にも体験利用ができます!

災害用伝言ダイヤル「171」は、災害発生に備えて利用方法を事前に覚えていただくため、体験利用ができます。利用できる日などは、次のとおりです。家族や親戚、友人などと試してみることをお勧めします。

【体験利用提供日】
毎月1日　0:00～24:00（1月1日を除く）
防災週間（８月30日9:00～９月５日17:00）
防災とボランティア週間（１月15日9:00～１月21日17:00）
5月24日(木)　5:00～21:00

【提供条件】
蓄積伝言数　10伝言　　伝言録音時間　30秒
伝言保存期間　６時間
※実際に災害が発生した際には体験利用ができない場合があります。